

山形県の農林水産業の概要

特徴・取組

山形県は、東北地方の日本海側に位置し、総面積は9,323km²、東京から概ね北に300km、山形新幹線で約3時間の距離にあり、蔵王、月山、烏海、吾妻、飯豊、朝日と日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、県南部を源流とする最上（もがみ）川が、米沢盆地から山形盆地、新庄盆地へと北上して周辺の農地を潤し、やがて庄内平野の穀倉地帯を經由して日本海に注ぎ込んでいる。

産業構造は、就業者数（令和2年）を産業別にみると、第1次産業が8.7%、第2次産業が28.6%、第3次産業が62.8%となっている。前回調査（平成27年）に比べ、第1次産業で0.6%、第2次産業で0.4%低下し、第3次産業の割合が1.0%上昇している。

日本海側の庄内地方は多くの河川が流れる肥沃な大地で、日本有数の穀倉地帯となっている。

一方、村山地方を始めとする内陸部は、一日の温度変化や季節の温度変化が大きく、収穫量日本一を誇るおうとう（さくらんぼ）や西洋なし等の果樹栽培が盛んに行われている。また、すいかやそば等の栽培も盛んである。

令和6年産米の食味ランキングでは山形県産米の「つや姫」が、平成22年のデビューから15年連続で「特A」評価を獲得し、全国のトップブランドとして定着。さらに、平成30年本格デビューした「雪若丸」も7年連続「特A」評価を獲得している。

おうとう（さくらんぼ）は、大玉新品種の「やまがた紅王（べにおう）」が令和5年に本格流通を開始し、山形県さくらんぼの新たな主力品種としてのブランド化を推進している。また、県産農畜産物の地理的表示（GI）登録により、米沢牛、東根さくらんぼ、山形セルリー、小笹（おざさ）うり及び山形ラ・フランスのブランド力強化の取組が行われている。

このほか、お正月に満開の桜が楽しめる促成栽培の「啓翁桜」（けいおうざくら）は、山形県が日本一の出荷量を誇っており、冬に咲く桜として海外でも年々知名度が上昇し、平成26年から海外輸出を行っている。

主な農林水産物

おうとう（さくらんぼ）

主要品種である「佐藤錦」をはじめ、大玉品種の「やまがた紅王」など多くの栽培品種がある。（収穫量全国1位）



西洋なし

地理的表示（GI）登録された「山形ラ・フランス」は県内の栽培面積の8割を占める。（収穫量全国1位）



すいか

尾花沢市、村山市、大石田町などが主な産地で、「尾花沢すいか」は全国的なブランドとして知られている。（収穫量全国3位）



ぶどう

生産量日本一の「デラウェア」や「シャインマスカット」など多彩な品種が揃っている。（収穫量全国4位）



米

ロングセラーの「はえぬき」や誕生以来特A評価の「つや姫」「雪若丸」が作付けされている。（収穫量全国6位）



ばら（切り花類）

山形市、寒河江市を中心に生産が盛んで、日本有数の産地を形成。ロックウール栽培による周年栽培が主流。（出荷量全国3位）



えだまめ

全国的なブランドとなった「だだちゃ豆」や晩生の「秘伝豆」等の品種がある。（収穫量全国5位）



そば

全国有数のそば生産県である。県内各地に「そば街道」があり、観光と一体となった生産振興が図られている。（収穫量全国4位）



肉用牛

地理的表示（GI）登録された「米沢牛」を始め、高品質な「総称山形牛」の生産拡大を図っている。



啓翁桜

冬に花を咲かせる「啓翁桜」は、雪が降り積もる「雪国」山形県が日本一の出荷量を誇っている。



山形県内の各地域における農林水産物



庄内（しょうない）地域

【農畜産物】水稲、えだまめ、メロン、ねぎ、日本なし、アスパラガス、かき、アルストロメリア、ストック、トルコギキョウ、豚

【林産物】なめこ、たけのこ、ねまがりたけ

【水産物】スルメイカ、ハタハタ、ホッケ、マダラ、サケ類、サクラマス、マダイ、ヒラメ、ずわいがに

最上（もがみ）地域

【農畜産物】水稲、そば、にら、アスパラガス、ねぎ、トマト、マッシュルーム、りんどう、ばら、トルコギキョウ、肉用牛

【林産物】わらび、なめこ、えのきたけ、ぶなしめじ、しいたけ、たらの芽、すぎ

【水産物】コイ、アユ、マス類

置賜（おきたま）地域

【農畜産物】水稲、えだまめ、アスパラガス、きゅうり、おうとう（さくらんぼ）、西洋なし、ぶどう、りんご、ダリア、アルストロメリア、啓翁桜、乳用牛、肉用牛、豚

【林産物】わらび、炭

【水産物】コイ、フナ、マス類

村山地域

【農畜産物】水稲、そば、えだまめ、すいか、きゅうり、セルリー、うるい、おうとう（さくらんぼ）、西洋なし、ぶどう、りんご、すもも、もも、ばら、ストック、啓翁桜、肉用牛、豚

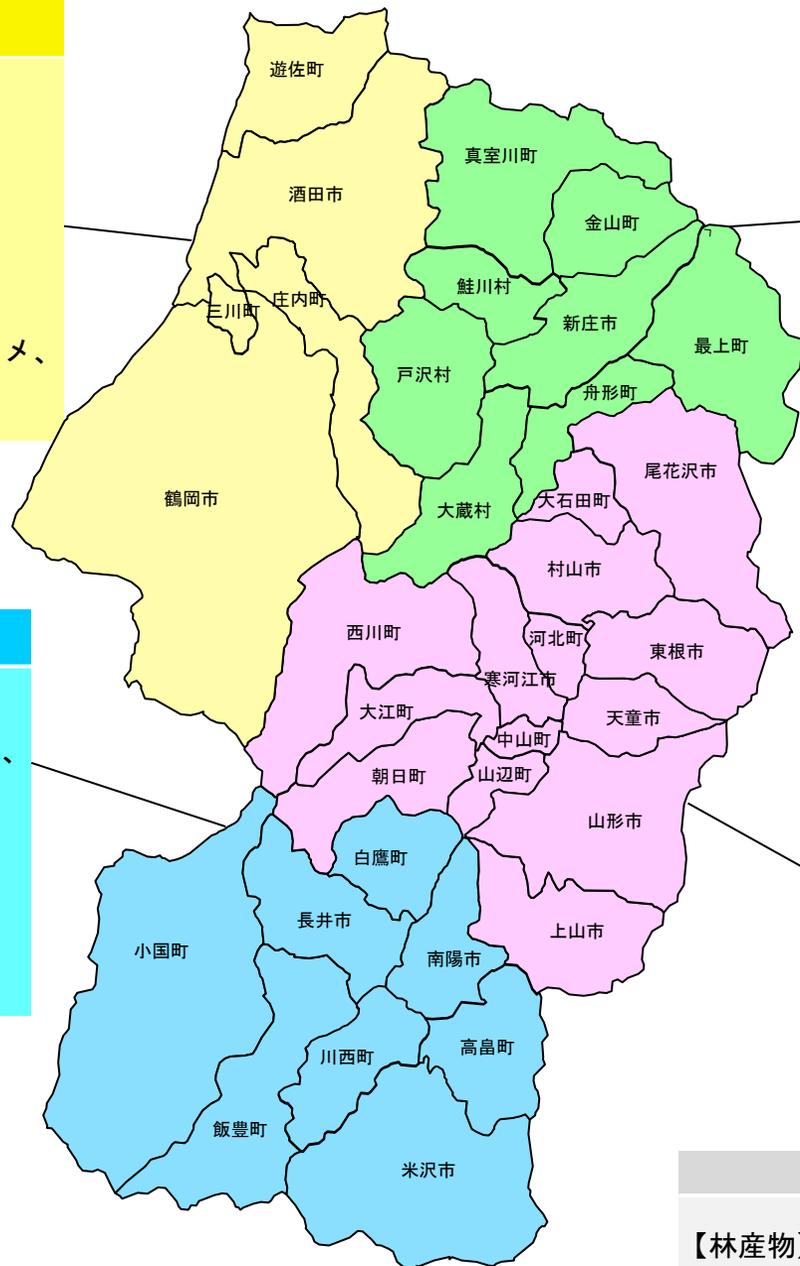
【林産物】なめこ、ねまがりたけ

【水産物】マス類、コイ

山形県内

【林産物】すぎ、からまつ、広葉樹

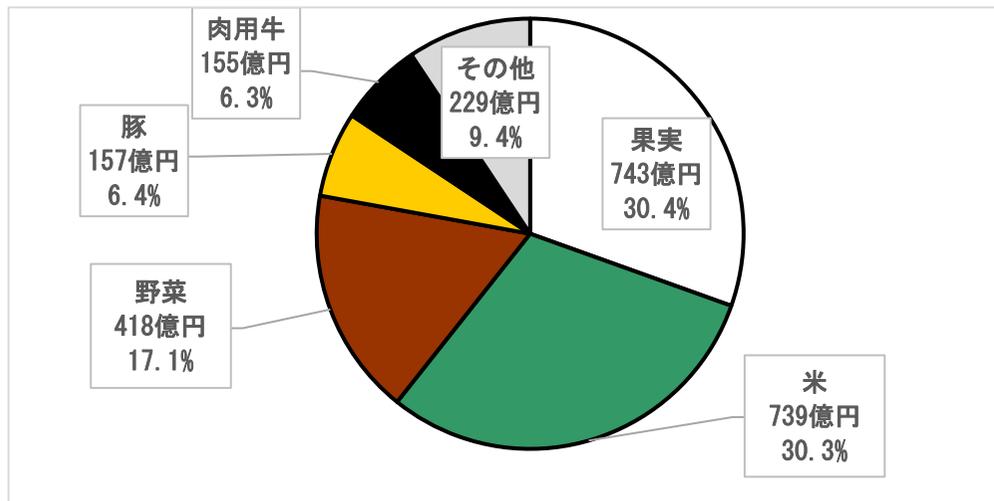
【水産物】ニジサクラ



山形県の農業（1）

- ・農業産出額は2,441億円で全国13位。うち米が739億円（30.3%）、野菜が418億円（17.1%）、畜産が441億円（18.1%）。
- ・農畜産物の生産状況は、おうとう、西洋なしが全国1位、すいか、ばら、りんどうが3位、そば、ぶどうが4位、えだまめが5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	山形県	全国	全国順位
水稻	収穫量	R6 354,500 t	7,345,000 t	6
そば	収穫量	R5 2,250 t	35,600 t	4 *
えだまめ	収穫量	R5 4,370 t	62,000 t	5
すいか	収穫量	R5 28,600 t	303,700 t	3
おうとう	収穫量	R6 8,590 t	11,500 t	1
西洋なし	収穫量	R5 13,200 t	19,700 t	1
ぶどう	収穫量	R6 14,000 t	164,600 t	4
ばら	出荷量	R5 12,500 千本	183,600 千本	3
りんどう	出荷量	R5 7,280 千本	69,000 千本	3
肉用牛	飼養頭数	R6 43,200 頭	2,672,000 頭	17

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

農業産出額のデータ

区分	山形県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,441 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	13
米	739 億円 (30.3)	15,193 億円 (16.0)	4
麦類	x 億円	678 億円	- *
雑穀	5 億円	77 億円	5
豆類	9 億円	572 億円	12
いも類	3 億円	2,301 億円	44
野菜	418 億円 (17.1)	23,243 億円 (24.5)	19
果実	743 億円 (30.4)	9,590 億円 (10.1)	5
花き	70 億円	3,522 億円	17
工芸農作物	2 億円	1,467 億円	31
その他作物	x 億円	585 億円	- *
畜産	441 億円 (18.1)	37,212 億円 (39.2)	24
肉用牛	155 億円	7,696 億円	15
乳用牛	81 億円	9,249 億円	21
生乳	76 億円	8,310 億円	20
豚	157 億円	7,194 億円	13
鶏	46 億円	12,033 億円	39
鶏卵	26 億円	7,413 億円	39
ブロイラー	20 億円	4,471 億円	28 *
その他畜産物	3 億円	1,041 億円	19
加工農産物	2 億円	513 億円	24

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

山形県の農業（2）

- ・耕地面積は11万3,200haで全国11位。うち田が8万9,800ha、畑が2万3,300ha。
- ・農業経営体数は2万8,241経営体で全国18位。うち法人経営体が626経営体で22位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は8,269経営体で全国6位。うち法人数が690法人で16位。
- ・農業生産関連事業は、農産物直売所の年間販売（売上）金額が234億円で全国19位、経営体数は620経営体で10位。

耕地面積

区分	山形県	全国	全国順位
耕地面積	113,200 ha	4,272,000 ha	11
田	89,800 ha	2,319,000 ha	9
畑	23,300 ha	1,952,000 ha	18
普通畑	11,800 ha	1,118,000 ha	21
樹園地	9,350 ha	248,600 ha	9
牧草地	2,150 ha	585,900 ha	13
参考) 総土地面積	9,323.15 km ²	377,975.68 km ²	9

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	山形県	全国	全国順位
荒廃農地面積	1,956 ha	256,676 ha	37

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区分	山形県	全国	全国順位
農業経営体数	28,241 経営体	1,075,705 経営体	18
法人経営体	626 経営体	30,707 経営体	22
総農家数	39,628 戸	1,747,079 戸	20
販売農家	26,796 戸	1,027,892 戸	18
参考) 世帯総数	398,015 世帯	55,830,154 世帯	38
集落営農数	452 集落営農	13,998 集落営農	14

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	山形県	全国	全国順位
担い手への集積面積	80,649 ha	2,593,345 ha	6
集積率	71.1 %	60.4 %	3

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	山形県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	39,034 人	1,363,038 人	12
男	24,620 人	822,144 人	11
女	14,414 人	540,894 人	16
65歳以上	26,645 人	948,621 人	14
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	68.3 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	8,269 経営体	216,784 経営体	6
法人数	690 法人	29,128 法人	16
参考) 人口総数	1,068,027 人	126,146,099 人	36

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	山形県	全国	全国順位	
農産加工	総額	8,638 百万円	999,786 百万円	30
	事業体数	680 事業体	27,760 事業体	15
農産物直売所	総額	23,448 百万円	1,126,420 百万円	19
	事業体数	620 事業体	21,240 事業体	10
観光農園	総額	653 百万円	37,281 百万円	21
	経営体数	200 経営体	5,050 経営体	9
農家民宿	総額	17 百万円	5,352 百万円	36 *
	経営体数	10 経営体	1,140 経営体	26
農家レストラン	総額	942 百万円	39,434 百万円	16 *
	事業体数	50 事業体	1,360 事業体	3

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

山 形 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は82.3億円で全国21位。うち木材生産が42.1億円、栽培きのご類生産が38.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国20位、わらびが全国1位、なめこ、ねまがりたけが3位、木質粒状燃料が8位。

林業産出額

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
林業産出額	82.3 億円	5,562.5 億円	21
木材生産	42.1 億円	3,257.0 億円	22
栽培きのご類生産	38.8 億円	2,199.2 億円	15

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
素材生産量	346 千m ³	20,647 千m ³	20
針葉樹	325 千m ³	18,926 千m ³	18 *
すぎ	316 千m ³	11,917 千m ³	12
からまつ	6 千m ³	1,837 千m ³	12 *
広葉樹	21 千m ³	1,721 千m ³	21 *
なめこ	生産量 4,188 t	23,752 t	3 *
ねまがりたけ	生産量 15 t	74 t	3 *
わらび	生産量 120 t	415 t	1 *
木質粒状燃料	生産量 3,987 t	158,646 t	8 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
林野面積	644,986 ha	24,770,201 ha	8
国有林	328,051 ha	7,153,338 ha	6
民有林	316,935 ha	17,616,863 ha	24
人工林面積	185,512 ha	10,133,111 ha	24

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
製材工場数	89 工場	3,749 工場	19
製材用素材の入荷があった工場数	89 工場	3,722 工場	19
国産材のみ	80 工場	3,116 工場	16
国産材と輸入材	9 工場	511 工場	23

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
林業経営体数	451 経営体	34,001 経営体	28
法人経営体	68 経営体	4,093 経営体	23

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

山 形 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は17億円で全国39位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のさけ類が全国5位、まだらが7位、内水面漁業のさけ類が2位、内水面養殖業のこいが4位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が8,000万円で全国18位、経営体数は10経営体で13位。

漁業産出額

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	17 億円	15,265 億円	39
海 面 漁 業	x 億円	9,534 億円	-
海 面 養 殖 業	x 億円	5,731 億円	-

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	209 経営体	65,662 経営体	39
内水面漁業経営体数	53 経営体	4,076 経営体	22

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	292 人	121,389 人	39
男	286 人	109,757 人	39
女	6 人	11,632 人	38

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
漁船隻数	268 隻	109,283 隻	39
動力漁船	140 隻	58,906 隻	39

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	2,616 t	3,777,921 t	37 *
海面漁業漁獲量	2,616 t	2,926,411 t	39
まだら	384 t	54,508 t	7 *
さけ類	48 t	60,154 t	5 *
海面養殖業収穫量	x t	851,509 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	270 t	51,908 t	22 *
内水面漁業漁獲量	168 t	21,567 t	11 *
さけ類	135 t	8,034 t	2 *
内水面養殖業収穫量	102 t	30,341 t	26 *
こい	40 t	1,725 t	4 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	151 百万円	179,159 百万円 36 *
	事業体数	10 事業体	1,220 事業体 25
水産物直売所	総額	x 百万円	34,988 百万円 - *
	事業体数	0 事業体	810 事業体 33
漁家民宿	総額	80 百万円	5,389 百万円 18 *
	経営体数	10 経営体	540 経営体 13
漁家レストラン	総額	x 百万円	13,249 百万円 - *
	事業体数	0 事業体	380 事業体 33

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

山形県の農林水産業の話題等

「いちずに、かじつ。」 やまがたフルーツ150周年事業について

1875年（明治8年）にさくらんぼや西洋なしなどの果樹の苗木が県内に導入されてから、2025年（令和7年）は150周年の節目の年を迎えることになる。この記念すべき年を「やまがたフルーツ150周年」として、「いちずに」栽培に取り組んだ先人たちの挑戦と歴史を振り返るとともに、その思いを未来に向けて受け継ぎ、「やまがたフルーツ」の魅力を発信し、果樹産地の活性化を目指すこととしている。

具体的には、令和6年8月にポータルサイトをオープンし、県産フルーツや産地の情報、さくらんぼ栽培の歴史等のほか、市町村や民間事業者のタイアップ企画、フルーツを使ったレシピなど、フルーツに関する情報を幅広く発信し、令和7年の「やまがたフルーツ150周年事業」（6月6-7日さくらんぼメモリアルフェスタ、8月9-10日フルーツEXPO等）に向けた機運の醸成を図っている。

また、「さくらんぼ王国やまがた」を次代へつないでいくために、気候変動に強く、強靱で持続可能なさくらんぼ産地づくりを推進するとともに、「やまがた紅王」のブランド確立や生産性の向上に向けた省力・軽労的な生産方式の導入と新興産地の育成等による「オール山形」での産地活性化に取り組むこととしている。

令和6年度新規就農者数383人（前年より5人増） 昭和60年以降で最多 9年連続で東北一

令和6年度調査（令和5年6月から令和6年5月末までに就農）の新規就農者は、調査を開始した昭和60年以降で最多の383人（前年より5人増）となり、東北6県では9年連続で第1位となっている。就農形態別の内訳については、自営就農者は171人（前年比28人減）、雇用就農者は令和3年度に次ぐ212人（前年比33人増）となった。また、新規参入者（新規学卒を除く非農家出身者）数は、過去最多となる216人（前年比27人増）となっている。

山形県は、意欲ある新規就農者の確保や育成のため、動機づけから就農、定着、経営発展までの各段階に応じた支援を行うとともに、地域の実情に応じた受入体制づくりや異業種からの農業参入など、関係機関が一体となって積極的に推進している。



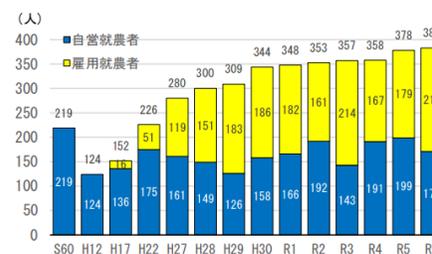
キャッチフレーズ
一途にくだものづくりに打ち込んだ先人たちの挑戦の歴史を振り返り、そのような思いとともにフルーツ王国やまがたを未来につないでいこうという決意を表現しました。

やまがたフルーツ150周年ポータルサイト：
<https://ymgt-f150.com/>



画像提供：やまがたフルーツ150周年ポータルサイト：<https://ymgt-f150.com/>

【図1】新規就農者の動向調査結果



注）各年5月末までの1年間の新規就農者で65歳未満の者
○ 雇用就農：農業法人等に雇用されて就農した者
○ 自営就農：自ら農業を開始した者及び家族の農業経営に参画し就農した者

【図2】属性別新規就農者の動向



○ 新規参入：非農家出身者で、新たに農地等を取得し就農した者
○ Uターン：農家出身者で、他産業に従事した後就農した者
○ 新規学卒：学校卒業後、就農又は研修を経て就農した者

資料提供：山形県
山形県HP：r6doukoutyousa.pdf